

「小規模建築物基礎設計指針」改定講習会ご案内

住宅地盤業界に大きく関わる日本建築学会発行の「小規模建築物基礎設計指針」が改定されます。改定内容を解説する講習会が開催されますのでご案内します。テキストとしていち早く入手も出来るようですので内容をご確認の上、ご興味のある方は是非ご受講ください。

<主旨>(会告より)

『小規模建築物基礎設計指針』の初版から17年が経過しました。初版の刊行により小規模建築物基礎の技術水準は着実に上がってきたものの、解決すべき課題はまだ多いのが現状です。今回の改定では『建築基礎構造設計指針』との整合性を意識しながら、曖昧であった定義・用語を見直し、根拠となるエビデンスを整理し、実務で定着している最新技術を反映しました。

主な改定点は、

- ① 建築基準法の改正に対応すべく小規模建築物の定義を見直したこと
- ② 現状の小規模建築物の技術水準で規定可能な設計クライテリアを明示したこと
- ③ 多くの地盤調査を活用できるように小規模建築物基礎設計と地盤調査方法の関係を、コストを意識して整理したこと
- ④ 沈下の推定については定性的な評価方法に重きを置いたこと など

また、小規模建築物は個人資産であることが大半であり資力に限界があるため、要求性能と費用のバランスをとることが難しい場合があり、そこでリスクコミュニケーションもしくはこれに類似した考え方を導入しました(主に、沈下リスクと液状化リスクに対して)。

今回の刊行を機会に、書籍に沿って内容をご説明する講習会を企画しましたので、奮ってご参加ください。

<改定講習会について>

全国主要都市にて開催され、最終回はオンライン(Zoom)でも聴講が可能です。

- ・開催日: 12月1日(月)【東京A】、2日(火)【広島】、4日(木)【仙台】、8日(月)【福岡】、10日(水)【大阪】、12日(金)【名古屋】、2026年1月28日(水)【東京B】&【オンライン(Zoom)】
- ・受講費用: 後援団体会員 15,000円(テキスト代込み) ※当協会は後援団体です。(一般18,000円)
- ・テキスト: 小規模建築物基礎設計指針 B5判、約400頁(一般販売は最終会場終了後)
- ・申込方法・締切: 会告に記載の通り

<プログラム>(各回共通)

- 10:00~11:00 第1章:指針の基本方針・第2章:地盤調査
- 11:00~12:00 第3章:基礎の計画
- 13:00~14:00 第4章:荷重・第5章:直接基礎の設計
- 14:00~15:00 第6章:小規模建築物のための地盤改良の設計
- 15:10~16:00 第7章:擁壁や地下構造物を有する場合の設計・第8章:施工・品質管理
- 16:00~17:00 第9章:造成宅地地盤・第10章:沈下障害と基礎の修復計

詳細は、日本建築学会HPの催し物・公募一覧もしくはNPO住品協HPのイベントカレンダーをご覧ください。

・日本建築学会・催し物・公募一覧 : <https://www.aij.or.jp/event/list.html>

・NPO住品協イベントカレンダー : <https://www.juhinkyo.jp/about/calendar/2025-calendar/>